

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	36
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				
事務事業名	総合運動公園整備事業					
予算科目	8 款 5 項 2 目					
予算事業名	総合運動公園整備事業					
総合計画での位置づけ	豊かな自然と共生する					
担当課	田園都市課	担当課長	川上 克彦			
事業担当者	田実 真一		一次評価者	井上 英貴		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	都市公園法					
事業の対象	総合運動公園					
事業の目的	スポーツ愛好者を増大させ、住民の健康増進を図るため、運動公園の整備を行うもの。					
実施期間	開始年度	平成 22 年度から				
	終了年度	平成 31 年度まで				
事業の内容	多目的グラウンド、球技場及び自由広場や芝生広場を整備する。					
目的達成の指標	総合運動公園の整備率					
	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目 標	%	9	9	9	9
	実 績	%	3	3		
指標設定の考え方	全体事業費(1,160,000,000円)を100%とし、区分年度の事業費が全体事業費に占める割合を成果指標とする。					
事業遂行時懸案事項等	総合運動公園整備は、社会資本整備総合交付金事業により整備を実施しているが、本町に対しての交付額が、申請額をかなり下回った額となっている。					
事業実施時懸案事項対応等	交付金の申請額や補正への対応を、福岡県と協議を行っている。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 5,752 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.10	0.10	0.10	0.10
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350	7,350
	③ 補助事業人件費				
	人件費(①×②-③)	728	738	735	735
事業費	直接事業費	40,000	100,000	300,000	300,090
	人件費	728	738	735	735
	合 計	40,728	100,738	300,735	300,825
財源内訳	国庫支出金	20,000	50,000	150,000	150,045
	県支出金				
	地方債	18,000	45,000	135,000	135,040
	その他				
	一般財源	2,728	5,738	15,735	15,740
	合 計	40,728	100,738	300,735	300,825

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	40,000	100,000	300,000	300,090	
実 績	40,000	36,800			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
設計	月	8	8	8	8
		8	8		
入札	月	9	9	9	9
		9	9		
契約	月	10	10	10	10
		9	10		
完了	月	3	3	3	3
		3	3		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 2,167 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目		28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.10	0.10	0.10	
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,129	
	③ 補助事業人件費		0		
	人件費(①×②-③)	676	738	712	
事業費	直接事業費	40,000	100,000	36,800	
	人件費	676	738	712	
	合 計	40,676	100,738	37,512	
財源内訳	国庫支出金	20,000	50,000	18,400	
	県支出金		0	0	
	地方債	18,000	45,000	16,560	
	その他		0		
	一般財源	2,676	5,738	2,552	
	合 計	40,676	100,738	37,512	

実施備忘録

自己評価	評価者	田実 真一
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	3	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	3	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	4	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

当該事業は、平成23年2月17日付け22公街大127号-4により福岡県知事の認可を受けた都市計画公園事業であり、また、第3次久山町総合計画の基本理念を実現するための施策として整備を進めている事業であるため、各項目とも高い評価をした。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

社会資本整備総合交付金を活用し、町単独財源の負担軽減を図っているものの、町の要望額に対する交付額が少なく、事業認可期間も平成31年度までとなっている状況にある。また、当初の事業認可から10年近くが経過するため、平成30年度中に事業の再評価を行い、現状にあった事業の見直しを行うよう計画している。

一次評価	評価者	井上 英貴
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	5	A
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	5	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input checked="" type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている※該当する場合は左の口にチェックしてください。		A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。	5	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	4	
②効率性		A
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	4	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	5	
③公平性・透明性		A
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	5	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

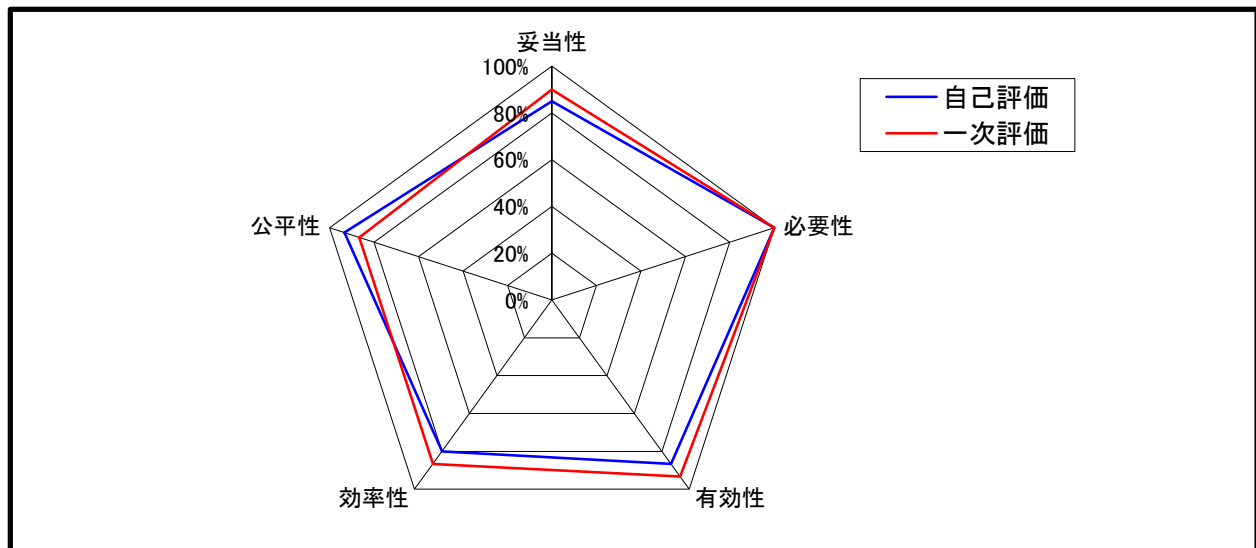


見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

本事業は、基本計画の「豊かな自然と共生する」を実現するために、都市計画決定された公園整備事業である。現在、社会資本整備総合交付金を活用して整備を行っているが、交付金の配分が少なく進捗は遅れているものの、早期の完成が望まれている。今後も、交付金制度等を活用して整備を促進していく。

自己評価・一次評価の傾向



二次評価 評価者 川上 克彦

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

本事業は交付金を活用した事業で、認可年度まで積極的に実施していく必要がある。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	事業認可延長及び事業の見直し
内容	福岡県との総合運動公園事業認可変更の協議を継続して行い、並行して、事業の再評価(B/C)を算出し、評価結果に基づいた計画の見直しを行う。

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input checked="" type="checkbox"/> その他

評価	C
----	---

外部評価委員の意見

国の補助金が無ければ進行は見直す必要があると考える。補助金が認められないことが確定すれば、速やかに再計画をされたい。その場合、多目的グラウンドの利用者による売り上げと、メンテナンスコスト、人件費等を試算する必要がある。

国の補助金を確保した上で、町民が望んでいるスポーツ施設であることから、今後も事業を推進していくことが求められる。

経営者会議

経営者評価者	町長
--------	----

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input checked="" type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	B
----	---

経営者会議の評価

補助金の確保を前提とした上で、今後整備の金額については検討が必要。当初の計画通りの整備は難しいと考えるが、必要な部分についての整備をしっかりと検討し、町民の方が利用したいと思う施設とする必要がある。